

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。

[戻る](#)

タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名				主担当 教員	対象年次	学期	曜日・校 時	開講期間
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 留学生用科目	20130575001001	●日本語Ⅰ	和	E		永井 智香子	1年,2年,3年,4年	前期	火3,火4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 留学生用科目	20130575001002	●日本語Ⅰ	和	E		夢田 美有紀	1年,2年,3年,4年	前期	木3,木4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 留学生用科目	20130575001003	●日本語Ⅰ	和	E		源島 福己	1年,2年,3年,4年	前期	金3,金4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 留学生用科目	20130575003001	●日本語Ⅱ	和	E		高野 泰邦	1年,2年,3年,4年	前期	水1,水2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 留学生用科目	20130575005001	●日本語Ⅲ	和	E		源島 福己	1年,2年,3年,4年	後期	火3,火4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 留学生用科目	20130575005002	●日本語Ⅲ	和	E		高野 泰邦	1年,2年,3年,4年	後期	木3,木4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 留学生用科目	20130575005003	●日本語Ⅲ	和	E		永井 智香子	1年,2年,3年,4年	後期	金3,金4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 留学生用科目	20130575007001	●日本語Ⅳ	和	E		松本 久美子	1年,2年,3年,4年	前期	水3,水4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 留学生用科目	20130575009001	●日本事情	和	E		源島 福己	1年,2年,3年,4年	後期	水2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 留学生用科目	20130589000101	●日本語中級Ⅱ読解	和	E		高野 泰邦	1年,2年,3年,4年	前期	水1,水2	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 留学生用科目	20130589000401	●日本語上級ⅠS	和	E		松本 久美子	1年,2年,3年,4年	前期	水3,水4	～
2013年度シ	教養教育-教										

ラバス（教養教育科目）	養教育 留学生用科目	20130589000701	●日本語上級ⅡS	和	E		永井 智香子	1年,2年,3年,4年	前期	火3,火4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 留学生用科目	20130589000702	●日本語上級ⅡS	和	E		夢田 美有紀	1年,2年,3年,4年	前期	木3,木4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 留学生用科目	20130589000703	●日本語上級ⅡS	和	E		源島 福己	1年,2年,3年,4年	前期	金3,金4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 留学生用科目	20130589001001	●日本語上級ⅡA	和	E		源島 福己	1年,2年,3年,4年	後期	火3,火4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 留学生用科目	20130589001002	●日本語上級ⅡA	和	E		高野 泰邦	1年,2年,3年,4年	後期	木3,木4	～
2013年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 留学生用科目	20130589001003	●日本語上級ⅡA	和	E		永井 智香子	1年,2年,3年,4年	後期	金3,金4	～





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3,火4	
開講期間				
必修選択	選択	単位数	2.0	
時間割コード	20130575001001	科目番号	05750010	
授業科目名	●日本語Ⅰ			
編集担当教員	永井 智香子			
授業担当教員名(科目責任者)	永井 智香子			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	永井 智香子			
科目分類	留学生用科目			
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目	
教室	[教養A棟]A-13			
対象学生（クラス等）	留学生			
担当教員Eメールアドレス	nagai@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室	留学生センター 2 階			
担当教員TEL	095-819-2239			
担当教員オフィスアワー	木曜 5 限			
授業のねらい	テレビ番組のドキュメンタリーなどを 1 0 分程度に編集したものを教材として授業を行い、日本語運用能力の向上を目指す			
授業方法（学習指導法）	ビデオを視聴することと、その内容に関するハンドアウトを使いながら授業を進める。また、毎週火曜の 3 校時目に小テストを行う。			
授業到達目標	この授業を通じて、日本語の力の向上が実感できるというだけではなく、昭和から平成のかけての時代の変化についての知識も得られるということを目指したい			
	回	内容	回	内容
	1	オリエンテーション ウォーミングアップ	17	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	2	ウォーミングアップ	18	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	3	日本語の書き言葉の練習	19	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	4	日本語の書き言葉の練習	20	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴

授業内容				ハンドアウトを使って日本語運用練習
	5	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	21	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	6	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	22	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	7	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	23	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	8	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	24	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	9	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	25	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	10	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	26	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	11	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	27	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	12	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	28	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	13	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	29	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	14	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	30	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	15	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	31	
	16	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習		
キーワード	高度経済成長			
教科書・教材・参考書	テレビ番組を編集したビデオ			

	ハンドアウト
成績評価の方法・基準等	小テスト５０％ 授業への取り組み２０％ 作文３０％ （変更の可能性あり、変更した場合は初日のオリエンテーションで伝える）
受講要件（履修条件）	プレースメントテストで受講を認められた学部正規留学生 プレースメントテストで受講を認められた学部所属の交換留学生
本科目の位置づけ	上級日本語
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木3,木4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130575001002	科目番号	05750010
授業科目名	●日本語Ⅰ		
編集担当教員	埴田 美有紀		
授業担当教員名(科目責任者)	埴田 美有紀		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	埴田 美有紀		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	miyut@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター二階		
担当教員TEL	095-819-2240		
担当教員オフィスアワー	月曜日3、4校時(他の曜日、時間でも可能な場合あり。Eメールでも可能)		
授業のねらい	今後の大学での勉強に役立つ技能の習得、上達を目的とする。		
授業方法（学習指導法）	レポート作成、ディスカッション、発表、読解。 ペア活動、グループ活動あり。		
授業到達目標	自分の意見を相手に的確に伝えられるようになる。 時事問題や専門的な内容についての記事を理解し、それに対して自分の意見が持てるようになる。 自分の意見をまとめてレポートが書けるようになる。 自分の意見をまとめ、聴く人に配慮して発表できるようになる。		
授業内容	第2回から第6回まではライティングの学習を、第7回から第12回までは発表の学習を、第13回から第15回までは読解とそれに対するレポート作成の学習をします。毎回のライティング、発表、レポートを評価の対象とするので、欠席するとその回の評価は0点になります。課題は一週間遅れて提出したら1/2点、それ以上遅れたり、指示と違うものを提出したりした場合は0点です。毎回まじめに授業に参加しなければ落ちると思ってください。		
	回	内容	
	1	4月4日：オリエンテーション	
	2	4月11日 ライティング1	
	3	4月18日 ライティング2	
	4	4月25日 ライティング3	
	5	5月2日 ライティング4	
	6	5月9日 ライティング5	
	7	5月16日 発表1-1	

	8	5月23日 発表1-2
	9	5月30日 発表2-1
	10	6月6日 発表2-2
	11	6月13日 発表3-1
	12	6月20日 発表3-2
	13	6月27日 読解・レポート1
	14	7月4日 読解・レポート2
	15	7月11日 読解・レポート3
	16	
キーワード	読解、作文、ディスカッション、発表	
教科書・教材・参考書	教材：「留学生のための日本語作文演習(中上級用)-第5版-」（初回に配布）、資料（毎回配布）。 参考図書：「日本語学習者が作文を書くための用例集」宮原彬著、凡人社、1900円+税	
成績評価の方法・基準等	授業への参加度5%、ライティング25%（毎回5%×5回）、発表30%（毎回10%×3回）、発表原稿・発表聞き取りシート 10%、読解・レポート作成30%（毎回10%×3回） ※出席：遅刻三回で欠席一回とみなします。	
受講要件（履修条件）	日本語能力試験1級合格相当の日本語能力を有する留学生。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	ライティング・発表・レポートは辞書を使ってもかまいません。ただし、インターネットや本に書かれた文を使う場合は引用文の後ろに（ ）を書いて、著者名と書かれた年を書き、最後に引用文献を書いてください。書いていない場合は剽窃(ひょうせつ)とみなし、評価せず、単位を出しません。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3 , 金 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130575001003	科目番号	05750010
授業科目名	●日本語Ⅰ		
編集担当教員	源島 福己		
授業担当教員名(科目責任者)	源島 福己		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	源島 福己		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	留学生		
担当教員Eメールアドレス	fgenjima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター2階		
担当教員TEL	095-819-2238		
担当教員オフィスアワー	火曜日 10:30-12:00		
授業のねらい	労働基準法や会社の就業規則の概要を学び、将来日本企業で働く場合の労働者としての基本的な法律上の権利や義務を理解する		
授業方法（学習指導法）	講義、資料読解、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、レポート、小テスト		
授業到達目標	レベルの高い資料を日本語で読んで理解し、その内容についてグループで積極的に議論し、内容をまとめて発表するプレゼンテーション力を高める。またsemester中に高度な内容の日本語の文章を書けるようにする。		
授業内容	日本で就職する場合、就職活動から入社して働く過程でどのような労働契約がなされ、労働者としての権利や義務が発生するかを学ぶ。 第1回 4月5日(金) 授業の進め方、オリエンテーション、自己紹介、社会人基礎力アンケート 第2回 4月12日（金） 労働基準法の概要 第3回 4月19日（金） 社員募集と採用 第4回 4月26日（金） 社員募集と採用 第5回 5月10日（金） 小テスト 労働時間 第6回 5月17日（金） 人材活用 第7回 5月24日（金） 人材活用 第8回 5月31日（金） 給与と税金 第9回 6月7日（金） 退職と解雇 第10回 6月14日（金） 小テスト 退職と解雇 第11回 6月21日（金） 就業規則 第12回 6月28日（金） 就業規則 第13回 7月5日（金） 日本の社会保障制度 第14回 7月12日（金） 日本の社会保障制度 第15回 7月19日（金） 小テスト、まとめと授業評価		

キーワード	労働基準法、内定、退職、解雇、就業規則
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。教材は必要に応じて教員が学生に配布する。
成績評価の方法・基準等	授業参加20%、レポート30%、小テスト30%、プレゼンテーション20%
受講要件（履修条件）	上級日本語能力（主として平成２３年度以前入学者で日本語の能力が高い者）
本科目の位置づけ	労働者の法律上の権利や義務を通して日本社会を理解する
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 1,水 2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130575003001	科目番号	05750030
授業科目名	●日本語 II		
編集担当教員	高野 泰邦		
授業担当教員名(科目責任者)	高野 泰邦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高野 泰邦		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	学部所属留学生 1 年、2 年、3 年、4 年		
担当教員Eメールアドレス	ytakano@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター		
担当教員TEL	819-2241 （内）2241		
担当教員オフィスアワー	水曜日3校時（12:50～14:20）		
授業のねらい	日本社会や日本文化のさまざまな側面を取り扱った文章を素材に、学習者に中級中期の日本語運用能力（読む力を中心に、聴く力、話す力、書く力）をバランス良く習得させる。		
授業方法（学習指導法）	(1)各課の本文の内容についてキーワードを出発点として推測する能力を養う。(2)論理的に展開される文章の理解を深める。(3)理解を深めた内容について学習者同士で話し合う。(4)学習者の国の事情などについても話し合う。(5)テーマについて意見を述べたり、書いたりする活動をする。		
授業到達目標	中級中期の多様なテーマを扱った文章が読める。テーマの内容について仲間と話し合うことができる。あるテーマについて論理的に組み立てられた考えを述べたり、書いたりすることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	4月10日 オリエンテーション / 第1課 色	
	2	4月17日 第1課 色 / 第2課 ユーモア・ジョーク	
	3	4月24日 第2課 ユーモア・ジョーク	
	4	5月 1日 第3課 制服	
	5	5月 8日 第3課 制服 / 第4課 算数	
	6	5月15日 第4課 算数	
	7	5月22日 第5課 遊びと運動	
	8	5月29日 第5課 遊びと運動 / 第6課 お金	
	9	6月 5日 第6課 お金	
	10	6月12日 第7課 水	

	11	6月19日 第7課 水 / 第8課 遺伝
	12	6月26日 第8課 遺伝
	13	7月 3日 第9課 漫画・アニメ・本
	14	7月10日 第9課 漫画・アニメ・本 / 第10課 ヒトと動物
	15	7月17日 第10課 ヒトと動物
	16	7月24日 試験 / 学生による授業評価
キーワード	日本社会の諸相、読む、聴く、話す、書く、論理的思考	
教科書・教材・参考書	『中級を学ぼう 中級中期』 スリーエーネットワーク	
成績評価の方法・基準等	予習10%、授業への参加度20%、作文20%、発表20%、試験30%を総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）	日本語能力試験N2合格程度の日本語能力を有する留学生	
本科目の位置づけ	中級中期	
学習・教育目標	予習、授業への積極的な参加、宿題の提出等を徹底させ、アクティブラーニングを身につけさせる。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3,火4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130575005001	科目番号	05750050
授業科目名	●日本語Ⅲ		
編集担当教員	源島 福己		
授業担当教員名(科目責任者)	源島 福己		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	源島 福己		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	留学生		
担当教員Eメールアドレス	fgenjima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター2階		
担当教員TEL	095-819-2238		
担当教員オフィスアワー	火曜日10:30-12:00		
授業のねらい	日本の社会は1990年代のバブル経済崩壊後、景気が低迷し社会における格差と貧困が急速に拡大したと言われている。なぜ格差や貧困は拡大するのか、様々な文章を読んで理解し、問題点や解決策を考える。また高度な内容の文章理解に基づいてグループディスカッションやプレゼンテーションを行い、日本語の理解力と表現力を高める。		
授業方法（学習指導法）	講義、文章読解、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、レポート作成、小テスト		
授業到達目標	高度な日本語の文章を読み、読解力や口語表現力を高める。		
授業内容	第1回10月1日（火）オリエンテーション、アンケート調査 第2回10月8日(火)格差と貧困 講義、文章読解、議論 第3回10月15日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第4回10月22日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第5回10月29日（火）小テスト、講義、DVD 第6回11月5日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第7回11月12日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第8回11月19日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第9回11月26日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第10回12月3日（火）小テスト、講義、DVD 第11回12月10日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第12回12月17日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第13回12月24日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第14回1月7日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第15回1月14日（火）小テスト、授業の振り返り、授業評価		
キーワード	格差と貧困		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。教員が授業で使用する教材のプリントを適宜配布する。		

成績評価の方法・基準等	レポート50%、授業出席および意欲10%、小テスト30%、プレゼンテーション10%
受講要件（履修条件）	上級日本語能力（主として平成23年度以前入学者で日本語の能力が高い者）
本科目の位置づけ	格差や貧困を通して日本社会の現状や問題点をより深く理解し、他の関連科目への学習理解や意欲を高める。
学習・教育目標	一つのテーマを様々な角度から考え、議論し、日本語で自分の意見を発表する。
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3,木4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130575005002	科目番号	05750050
授業科目名	●日本語Ⅲ		
編集担当教員	高野 泰邦		
授業担当教員名(科目責任者)	高野 泰邦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高野 泰邦		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	学部所属留学生1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス	ytakano@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター		
担当教員TEL	819-2241（内）2241		
担当教員オフィスアワー	水曜日3校時（12:50～14:20）		
授業のねらい	日本社会の現状を反映した文章を素材に、大学生活に必要な日本語の総合的な技能（読む力、考える力、話す力、書く力）を身につけさせる。		
授業方法（学習指導法）	読む練習、話す練習、書く練習をとおして総合的な日本語力を養成する。(1)各テーマについて背景となる基本的な情報を提供する。(2)学習者に適当な長さの文章を音読させ、要旨を述べさせる。(3)質疑応答により、文章の内容の理解度を確認する。(4)読後の感想や意見を述べさせる。(5)学習者が母国の状況と関連させて捉えることのできる内容について話し合ったり、作文を書かせたりして論理的思考を養成する。		
授業到達目標	論理的に構成された文章が読める。論理的に考えることができる。論理的に構成された文章を書くことができる。意見や主張を論理的に述べることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	10月3日 オリエンテーション / 働く女性、「なでひこ」に続け（生活）	
	2	10月10日 未婚の男性が急増（生活）	
	3	10月17日 なぜ少子化が社会問題なのか（少子高齢社会）	
	4	10月24日 高齢社会は怖くない！？（少子高齢社会）	
	5	10月31日 「教育危機」（教育）	
	6	11月7日 問われる学力観（教育）	
	7	11月14日 日本型雇用システム（1） / 日本型雇用システム（2）（企業と労働）	
	8	11月21日 新卒外国人が変える日本（企業と労働）	
	9	11月28日 インターネットの隆盛（科学技術と人間）	
	10	12月5日 ネット依存と人間関係（科学技術と人間）	

	11	1 2 月 1 2 日 人間のおどり （自然環境・科学技術と人間社会）
	12	1 2 月 1 9 日 エビデンスと現実の直視 （自然環境・科学技術と人間社会）
	13	1 2 月 2 6 日 お互い様を求めて （自然環境・科学技術と人間社会）
	14	1 月 9 日 岐路に立つ電力文明 （自然環境・科学技術と人間社会）
	15	1 月 1 6 日 総まとめ、学生による授業評価
	16	
キーワード	日本社会の現状、総合的技能の修得、論理的思考力	
教科書・教材・参考書	『留学生のための時代を読み解く上級日本語 第2版』 宮原彬 編著 スリーエーネットワーク	
成績評価の方法・基準等	予習10%、授業への参加度30%、作文30%、発表30%を総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）	日本語能力試験N1合格程度の日本語能力を有する留学生	
本科目の位置づけ	上級日本語	
学習・教育目標	日本語上級レベルの総合的な技能を修得する。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 3 , 金 4	
開講期間				
必修選択	選択	単位数	2.0	
時間割コード	20130575005003	科目番号	05750050	
授業科目名	●日本語Ⅲ			
編集担当教員	永井 智香子			
授業担当教員名(科目責任者)	永井 智香子			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	永井 智香子			
科目分類	留学生用科目			
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目	
教室	[教養A棟]A-13			
対象学生（クラス等）	留学生			
担当教員Eメールアドレス	nagai@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室	留学生センター 2 階			
担当教員TEL	095-819-2239			
担当教員オフィスアワー	木曜 5 限			
授業のねらい	テレビ番組のドキュメンタリーなどを 1 0 分程度に編集したものを教材として授業を行い、日本語運用能力の向上を目指す			
授業方法（学習指導法）	ビデオを視聴することと、その内容に関するハンドアウトを使いながら授業を進める。また、毎週火曜の 3 校時目に小テストを行う。			
授業到達目標	この授業を通じて、日本語の力の向上が実感できるというだけではなく、昭和から平成のかけての時代の変化についての知識も得られるということを目指したい			
	回	内容	回	内容
	1	オリエンテーション ウォーミングアップ	17	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	2	ウォーミングアップ	18	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	3	日本語の書き言葉の練習	19	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	4	日本語の書き言葉の練習	20	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴

授業内容				ハンドアウトを使って日本語運用練習
	5	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	21	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	6	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	22	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	7	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	23	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	8	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	24	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	9	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	25	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	10	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	26	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	11	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	27	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	12	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	28	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	13	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	29	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	14	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	30	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	15	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	31	
	16	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習		
キーワード	高度経済成長			
教科書・教材・参考書	テレビ番組を編集したビデオ			

	ハンドアウト
成績評価の方法・基準等	小テスト５０％ 授業への取り組み２０％ 作文３０％ （変更の可能性あり、変更した場合は初日のオリエンテーションで伝える）
受講要件（履修条件）	プレースメントテストで受講を認められた学部正規留学生 プレースメントテストで受講を認められた学部所属の交換留学生
本科目の位置づけ	上級日本語
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3,水4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130575007001	科目番号	05750070
授業科目名	●日本語Ⅳ		
編集担当教員	松本 久美子		
授業担当教員名(科目責任者)	松本 久美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松本 久美子		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	留学生		
担当教員Eメールアドレス	kumiko-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター 2階		
担当教員TEL	819-2242		
担当教員オフィスアワー	水曜 5 限		
授業のねらい	日本の大学で学習・研究するのに必要な上級レベルの日本語能力（特に読解能力）を習得する。		
授業方法（学習指導法）	現代日本について書かれたさまざまな種類の文章を読む。基本的には教科書の科に沿って授業を進める。授業では、①本文内容の理解、②文型・語彙・表現の確認、文型・表現練習、③内容確認、④本文の内容に関するディスカッション等を行う。		
授業到達目標	上級レベルの文法や語彙・表現を習得するとともに、上級レベルの文章を読解する能力を獲得する。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション・第1課	
	2	第1課	
	3	第2課	
	4	第3課	
	5	第4課	
	6	第5課	
	7	第6課	
	8	テスト①・復習	
	9	第7課	
	10	第8課	
	11	第9課	
	12	第10課	

	13	第11課
	14	第12課
	15	テスト②・復習
	16	
キーワード	上級レベル、読解能力	
教科書・教材・参考書	『学ぼう！日本語中上級（日本語能力試験N 1 対応』 専門教育出版	
成績評価の方法・基準等	授業参加の積極性20％、宿題20％、テスト60％	
受講要件（履修条件）	日本語能力試験 2 級合格相当、または日本留学試験（日本語科目） 2 0 0 点得点相当の日本語能力を有する留学生	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	3 校時目と 4 校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130575009001	科目番号	05750090
授業科目名	●日本事情		
編集担当教員	源島 福己		
授業担当教員名(科目責任者)	源島 福己		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	源島 福己		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	留学生		
担当教員Eメールアドレス	fgenjima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター2階（8月に移動予定）		
担当教員TEL	095-819-2238		
担当教員オフィスアワー	月＆火曜日 10:30－12:00		
授業のねらい	キャリア教育の歴史的な展開をたどりながら、なぜ大学生にキャリア教育が必要であり、それを学生時代の過ごし方、勉強内容や将来の就職にどのような影響を与えるのか、また学びの内容を職業にどうリンクさせるべきかを考え、さらに計画や行動を促す。		
授業方法（学習指導法）	講義、文章読解、グループワーク、プレゼンテーション、レポート、小テスト		
授業到達目標	キャリアの意味を理解し、自己認識を深めることで、将来の職業に対するイメージが持てるようにする。		
授業内容	第1回 10月2日（水）オリエンテーション、アンケート調査 第2回10月9日（水） 高等教育とキャリア教育 第3回10月16日（水） ニートとフリーター 第4回10月23日（水） 非正規労働者 第5回10月30日（水） 小テスト 第6回11月6日（水） 社会人基礎力 第7回11月13日（水） プレゼンテーション 私の社会人基礎力 第8回11月20日（水） 日本企業とキャリアの発達 第9回11月27日（水） DVD ワーキングブア 第10回12月4日（水） 小テスト 第11回12月11日（水） 金融教育 第12回12月18日（水） VPI 第13回12月25日（水） プレゼンテーション（私のVPI） 第14回1月8日（水） ライフストーリーと自己認識 第15回1月15日（水） 小テスト、授業の振り返り、学生授業評価		
キーワード	キャリア、社会人基礎力、VPI、ライフストーリー、自己認識		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。教材は教員が授業中に配布する予定。		
成績評価の方法・基準等	レポート50%、小テスト30%、プレゼンテーション10%、出席および授業参加意欲10%		

受講要件（履修条件）	高度な日本語の文章を読解し、書き、話す力があること。
本科目の位置づけ	自分のキャリアについて深く考えることで、大学での学習科目選択を戦略的に行い、将来の就職活動につなげていく。
学習・教育目標	より深く自分を理解し、社会を知ることによって論理的な多様な人々とコミュニケーションする力を身に付ける。
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 1,水 2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130589000101	科目番号	05890001
授業科目名	●日本語中級Ⅱ読解		
編集担当教員	高野 泰邦		
授業担当教員名(科目責任者)	高野 泰邦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高野 泰邦		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	学部所属留学生 1 年、2 年、3 年、4 年		
担当教員Eメールアドレス	ytakano@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター		
担当教員TEL	819-2241 （内）2241		
担当教員オフィスアワー	水曜日3校時（12:50～14:20）		
授業のねらい	日本社会や日本文化のさまざまな側面を取り扱った文章を素材に、学習者に中級中期の日本語運用能力（読む力を中心に、聴く力、話す力、書く力）をバランス良く習得させる。		
授業方法（学習指導法）	(1)各課の本文の内容についてキーワードを出発点として推測する能力を養う。(2)論理的に展開される文章の理解を深める。(3)理解を深めた内容について学習者同士で話し合う。(4)学習者の国の事情などについても話し合う。(5)テーマについて意見を述べたり、書いたりする活動をする。		
授業到達目標	中級中期の多様なテーマを扱った文章が読める。テーマの内容について仲間と話し合うことができる。あるテーマについて論理的に組み立てられた考えを述べたり、書いたりすることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	4月10日 オリエンテーション / 第1課 色	
	2	4月17日 第1課 色 / 第2課 ユーモア・ジョーク	
	3	4月24日 第2課 ユーモア・ジョーク	
	4	5月 1日 第3課 制服	
	5	5月 8日 第3課 制服 / 第4課 算数	
	6	5月15日 第4課 算数	
	7	5月22日 第5課 遊びと運動	
	8	5月29日 第5課 遊びと運動 / 第6課 お金	
	9	6月 5日 第6課 お金	
	10	6月12日 第7課 水	

	11	6月19日 第7課 水 / 第8課 遺伝
	12	6月26日 第8課 遺伝
	13	7月 3日 第9課 漫画・アニメ・本
	14	7月10日 第9課 漫画・アニメ・本 / 第10課 ヒトと動物
	15	7月17日 第10課 ヒトと動物
	16	7月24日 試験 / 学生による授業評価
キーワード	日本社会の諸相、読む、聴く、話す、書く、論理的思考	
教科書・教材・参考書	『中級を学ぼう 中級中期』 スリーエーネットワーク	
成績評価の方法・基準等	予習10%、授業への参加度20%、作文20%、発表20%、試験30%を総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）	日本語能力試験N2合格程度の日本語能力を有する留学生	
本科目の位置づけ	中級中期	
学習・教育目標	予習、授業への積極的な参加、宿題の提出等を徹底させ、アクティブラーニングを身につけさせる。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3,水4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130589000401	科目番号	05890004
授業科目名	●日本語上級ⅠS		
編集担当教員	松本 久美子		
授業担当教員名(科目責任者)	松本 久美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松本 久美子		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	留学生		
担当教員Eメールアドレス	kumiko-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター 2階		
担当教員TEL	819-2242		
担当教員オフィスアワー	水曜 5限		
授業のねらい	日本の大学で学習・研究するのに必要な上級レベルの日本語能力（特に読解能力）を習得する。		
授業方法（学習指導法）	現代日本について書かれたさまざまな種類の文章を読む。基本的には教科書の科に沿って授業を進める。授業では、①本文内容の理解、②文型・語彙・表現の確認、文型・表現練習、③内容確認、④本文の内容に関するディスカッション等を行う。		
授業到達目標	上級レベルの文法や語彙・表現を習得するとともに、上級レベルの文章を読解する能力を獲得する。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション・第1課	
	2	第1課	
	3	第2課	
	4	第3課	
	5	第4課	
	6	第5課	
	7	第6課	
	8	テスト①・復習	
	9	第7課	
	10	第8課	
	11	第9課	
	12	第10課	

	13	第11課
	14	第12課
	15	テスト②・復習
	16	
キーワード	上級レベル、読解能力	
教科書・教材・参考書	『学ぼう！日本語中上級（日本語能力試験N 1 対応』 専門教育出版	
成績評価の方法・基準等	授業参加の積極性20％、宿題20％、テスト60％	
受講要件（履修条件）	日本語能力試験 2 級合格相当、または日本留学試験（日本語科目） 2 0 0 点得点相当の日本語能力を有する留学生	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	3 校時目と 4 校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3,火4	
開講期間				
必修選択	選択	単位数	2.0	
時間割コード	20130589000701	科目番号	05890007	
授業科目名	●日本語上級ⅡS			
編集担当教員	永井 智香子			
授業担当教員名(科目責任者)	永井 智香子			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	永井 智香子			
科目分類	留学生用科目			
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目	
教室	[教養A棟]A-13			
対象学生（クラス等）	留学生			
担当教員Eメールアドレス	nagai@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室	留学生センター 2 階			
担当教員TEL	095-819-2239			
担当教員オフィスアワー	木曜 5 限			
授業のねらい	テレビ番組のドキュメンタリーなどを 1 0 分程度に編集したものを教材として授業を行い、日本語運用能力の向上を目指す			
授業方法（学習指導法）	ビデオを視聴することと、その内容に関するハンドアウトを使いながら授業を進める。また、毎週火曜の 3 校時目に小テストを行う。			
授業到達目標	この授業を通じて、日本語の力の向上が実感できるというだけではなく、昭和から平成のかけての時代の変化についての知識も得られるということを目指したい			
	回	内容	回	内容
	1	オリエンテーション ウォーミングアップ	17	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	2	ウォーミングアップ	18	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	3	日本語の書き言葉の練習	19	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	4	日本語の書き言葉の練習	20	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴

授業内容				ハンドアウトを使って日本語運用練習
	5	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	21	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	6	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	22	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	7	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	23	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	8	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	24	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	9	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	25	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	10	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	26	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	11	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	27	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	12	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	28	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	13	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	29	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	14	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	30	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	15	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	31	
	16	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習		
キーワード	高度経済成長			
教科書・教材・参考書	テレビ番組を編集したビデオ			

	ハンドアウト
成績評価の方法・基準等	小テスト５０％ 授業への取り組み２０％ 作文３０％ （変更の可能性あり、変更した場合は初日のオリエンテーションで伝える）
受講要件（履修条件）	プレースメントテストで受講を認められた学部正規留学生 プレースメントテストで受講を認められた学部所属の交換留学生
本科目の位置づけ	上級日本語
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木3,木4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130589000702	科目番号	05890007
授業科目名	●日本語上級ⅡS		
編集担当教員	埴田 美有紀		
授業担当教員名(科目責任者)	埴田 美有紀		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	埴田 美有紀		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	miyut@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター二階		
担当教員TEL	095-819-2240		
担当教員オフィスアワー	月曜日3、4校時(他の曜日、時間でも可能な場合あり。Eメールでも可能)		
授業のねらい	今後の大学での勉強に役立つ技能の習得、上達を目的とする。		
授業方法（学習指導法）	レポート作成、ディスカッション、発表、読解。 ペア活動、グループ活動あり。		
授業到達目標	自分の意見を相手に的確に伝えられるようになる。 時事問題や専門的な内容についての記事を理解し、それに対して自分の意見が持てるようになる。 自分の意見をまとめてレポートが書けるようになる。 自分の意見をまとめ、聴く人に配慮して発表できるようになる。		
授業内容	第2回から第6回まではライティングの学習を、第7回から第12回までは発表の学習を、第13回から第15回までは読解とそれに対するレポート作成の学習をします。毎回のライティング、発表、レポートを評価の対象とするので、欠席するとその回の評価は0点になります。課題は一週間遅れて提出したら1/2点、それ以上遅れたり、指示と違うものを提出したりした場合は0点です。毎回まじめに授業に参加しなければ落ちると思ってください。		
	回	内容	
	1	4月4日：オリエンテーション	
	2	4月11日 ライティング1	
	3	4月18日 ライティング2	
	4	4月25日 ライティング3	
	5	5月2日 ライティング4	
	6	5月9日 ライティング5	
	7	5月16日 発表1-1	

	8	5月23日 発表1-2
	9	5月30日 発表2-1
	10	6月6日 発表2-2
	11	6月13日 発表3-1
	12	6月20日 発表3-2
	13	6月27日 読解・レポート1
	14	7月4日 読解・レポート2
	15	7月11日 読解・レポート3
	16	
キーワード	読解、作文、ディスカッション、発表	
教科書・教材・参考書	教材：「留学生のための日本語作文演習(中上級用)-第5版-」（初回に配布）、資料（毎回配布）。 参考図書：「日本語学習者が作文を書くための用例集」宮原彬著、凡人社、1900円+税	
成績評価の方法・基準等	授業への参加度5%、ライティング25%（毎回5%×5回）、発表30%（毎回10%×3回）、発表原稿・発表聞き取りシート 10%、読解・レポート作成30%（毎回10%×3回） ※出席：遅刻三回で欠席一回とみなします。	
受講要件（履修条件）	日本語能力試験1級合格相当の日本語能力を有する留学生。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	ライティング・発表・レポートは辞書を使ってもかまいません。ただし、インターネットや本に書かれた文を使う場合は引用文の後ろに（ ）を書いて、著者名と書かれた年を書き、最後に引用文献を書いてください。書いていない場合は剽窃(ひょうせつ)とみなし、評価せず、単位を出しません。	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3 , 金 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130589000703	科目番号	05890007
授業科目名	●日本語上級ⅡS		
編集担当教員	源島 福己		
授業担当教員名(科目責任者)	源島 福己		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	源島 福己		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	留学生		
担当教員Eメールアドレス	fgenjima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター 2 階		
担当教員TEL	095-819-2238		
担当教員オフィスアワー	火曜日10:30-12:00		
授業のねらい	労働基準法や会社の就業規則の概要を学び、将来日本企業で働く場合の労働者としての基本的な法律上の権利や義務を理解する		
授業方法（学習指導法）	講義、日本語の資料読解、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、レポート、小テスト		
授業到達目標	レベルの高い日本語資料を読んで理解し、その内容についてグループで積極的に議論し、枚葉をまとめて発表するプレゼンテーション力を高める。またセメスター中に高度な内容の日本語の文章を書けるようにする。		
授業内容	大学卒業時の就職活動から入社後のキャリア形成に至る一連の労働人生の中で、労働者の権利と義務を考える。 1.4月5日（金）授業の進め方、オリエンテーション、自己紹介、社会人基礎力アンケート 2.4月12日（金）労働基準法の概要 3.4月19日（金）社員募集と採用 4.4月26日（金）社員募集と採用 5.5月10日（金）小テスト 労働時間 6.5月17日（金）人材活用 7.5月24日（金）人材活用 8.5月31日（金）給与と税金 9.6月7日（金）退職と解雇 10.6月14日（金）小テスト 退職と解雇 11.6月21日（金）就業規則 12.6月28日（金）就業規則 13.7月5日（金）日本の社会保障制度 14.7月12日（金）日本の社会保険制度 15.7月19日（金）小テスト、まとめと授業評価		

キーワード	労働基準法、内定、退職、解雇、就業規則
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。教材は必要に応じて授業中に教員が配布する。
成績評価の方法・基準等	授業参加20%、レポート30%、小テスト30%、プレゼンテーション20%
受講要件（履修条件）	上級日本語能力（主として平成24年度以降入学者で日本語の能力が高い者）
本科目の位置づけ	労働者の法律上の権利や義務を通して日本社会を理解する
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3,火4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130589001001	科目番号	05890010
授業科目名	●日本語上級ⅡA		
編集担当教員	源島 福己		
授業担当教員名(科目責任者)	源島 福己		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	源島 福己		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	留学生		
担当教員Eメールアドレス	fgenjima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター 2階（8月に移動予定）		
担当教員TEL	095-819-22238		
担当教員オフィスアワー	火曜日 10:30-12:00		
授業のねらい	日本の社会は1990年代のバブル経済崩壊後、景気が低迷し社会における格差と貧困が急速に拡大したと言われている。なぜ格差や貧困は拡大するのか、様々な文章を読んで理解し、問題点や解決策を考える。また高度な内容の文章理解に基づいてグループディスカッションやプレゼンテーションを行い、日本語の理解力と表現力を高める。		
授業方法（学習指導法）	講義、文章読解、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、レポート作成、小テスト		
授業到達目標	高度な日本語の文章を読み、読解力や口語表現力を高める。		
授業内容	第1回10月1日（火）オリエンテーション、アンケート調査 第2回10月8日(火)格差と貧困 講義、文章読解、議論 第3回10月15日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第4回10月22日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第5回10月29日（火）小テスト、講義、DVD 第6回11月5日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第7回11月12日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第8回11月19日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第9回11月26日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第10回12月3日（火）小テスト、講義、DVD 第11回12月10日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第12回12月17日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第13回12月24日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第14回1月7日（火）格差と貧困 講義、文章読解、議論 第15回1月14日（火）小テスト、授業の振り返り、授業評価		
キーワード	格差と貧困		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。教員が授業で使用する教材のプリントを配布する		

成績評価の方法・基準等	レポート50%、授業出席および意欲10%、小テスト30%、プレゼンテーション10%
受講要件（履修条件）	上級日本語能力（主として平成24年度以降入学者で日本語の能力が高い者）
本科目の位置づけ	格差や貧困を通して日本社会の現状や問題点をより深く理解し、他の関連科目への学習理解や意欲を高める。
学習・教育目標	一つのテーマを様々な角度から考え、議論し、日本語で自分の意見を発表する。
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3,木4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130589001002	科目番号	05890010
授業科目名	●日本語上級ⅡA		
編集担当教員	高野 泰邦		
授業担当教員名(科目責任者)	高野 泰邦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高野 泰邦		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	学部所属留学生1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス	ytakano@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター		
担当教員TEL	819-2241（内）2241		
担当教員オフィスアワー	水曜日3校時（12:50～14:20）		
授業のねらい	日本社会の現状を反映した文章を素材に、大学生活に必要な日本語の総合的な技能（読む力、考える力、話す力、書く力）を身につけさせる。		
授業方法（学習指導法）	読む練習、話す練習、書く練習をとおして総合的な日本語力を養成する。(1)各テーマについて背景となる基本的な情報を提供する。(2)学習者に適当な長さの文章を音読させ、要旨を述べさせる。(3)質疑応答により、文章の内容の理解度を確認する。(4)読後の感想や意見を述べさせる。(5)学習者が母国の状況と関連させて捉えることのできる内容について話し合ったり、作文を書かせたりして論理的思考を養成する。		
授業到達目標	論理的に構成された文章が読める。論理的に考えることができる。論理的に構成された文章を書くことができる。意見や主張を論理的に述べることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	10月3日 オリエンテーション / 働く女性、「なでひこ」に続け（生活）	
	2	10月10日 未婚の男性が急増（生活）	
	3	10月17日 なぜ少子化が社会問題なのか（少子高齢社会）	
	4	10月24日 高齢社会は怖くない！？（少子高齢社会）	
	5	10月31日 「教育危機」（教育）	
	6	11月7日 問われる学力観（教育）	
	7	11月14日 日本型雇用システム（1） / 日本型雇用システム（2）（企業と労働）	
	8	11月21日 新卒外国人が変える日本（企業と労働）	
	9	11月28日 インターネットの隆盛（科学技術と人間）	
	10	12月5日 ネット依存と人間関係（科学技術と人間）	

	11	1 2 月 1 2 日 人間のおどり （自然環境・科学技術と人間社会）
	12	1 2 月 1 9 日 エビデンスと現実の直視 （自然環境・科学技術と人間社会）
	13	1 2 月 2 6 日 お互い様を求めて （自然環境・科学技術と人間社会）
	14	1 月 9 日 岐路に立つ電力文明 （自然環境・科学技術と人間社会）
	15	1 月 1 6 日 総まとめ、学生による授業評価
	16	
キーワード	日本社会の現状、総合的技能の修得、論理的思考力	
教科書・教材・参考書	『留学生のための時代を読み解く上級日本語 第2版』 宮原彬 編著 スリーエーネットワーク	
成績評価の方法・基準等	予習10%、授業への参加度30%、作文30%、発表30%を総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）	日本語能力試験N1合格程度の日本語能力を有する留学生	
本科目の位置づけ	上級日本語	
学習・教育目標	日本語上級レベルの総合的な技能を修得する。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 3 , 金 4	
開講期間				
必修選択	選択	単位数	2.0	
時間割コード	20130589001003	科目番号	05890010	
授業科目名	●日本語上級ⅡA			
編集担当教員	永井 智香子			
授業担当教員名(科目責任者)	永井 智香子			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	永井 智香子			
科目分類	留学生用科目			
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目	
教室	[教養A棟]A-13			
対象学生（クラス等）	留学生			
担当教員Eメールアドレス	nagai@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室	留学生センター 2 階			
担当教員TEL	095-819-2239			
担当教員オフィスアワー	木曜 5 限			
授業のねらい	テレビ番組のドキュメンタリーなどを 1 0 分程度に編集したものを教材として授業を行い、日本語運用能力の向上を目指す			
授業方法（学習指導法）	ビデオを視聴することと、その内容に関するハンドアウトを使いながら授業を進める。また、毎週火曜の 3 校時目に小テストを行う。			
授業到達目標	この授業を通じて、日本語の力の向上が実感できるというだけではなく、昭和から平成のかけての時代の変化についての知識も得られるということを目指したい			
	回	内容	回	内容
	1	オリエンテーション ウォーミングアップ	17	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	2	ウォーミングアップ	18	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	3	日本語の書き言葉の練習	19	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	4	日本語の書き言葉の練習	20	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴

授業内容				ハンドアウトを使って日本語運用練習
	5	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	21	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	6	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	22	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	7	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	23	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	8	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	24	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	9	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	25	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	10	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	26	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	11	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	27	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	12	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	28	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	13	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	29	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	14	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	30	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	15	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	31	
	16	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習		
キーワード	高度経済成長			
教科書・教材・参考書	テレビ番組を編集したビデオ			

	ハンドアウト
成績評価の方法・基準等	小テスト５０％ 授業への取り組み２０％ 作文３０％ （変更の可能性あり、変更した場合は初日のオリエンテーションで伝える）
受講要件（履修条件）	プレースメントテストで受講を認められた学部正規留学生 プレースメントテストで受講を認められた学部所属の交換留学生
本科目の位置づけ	上級日本語
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	

